

## 情勢報告

## 女性農業者に環境制御技術を講義 ～農村女性リーダーつどい～



講義に集中しています

1月26日に安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会主催の「第10回安芸・室戸地区農村女性リーダーつどい」が行われ、地区内外の農村女性や関係者が計86人参加しました。

農業改良普及課は、開催の準備や円滑な運営を支援するとともに、今まで以上に環境制御技術に関心を持ってもらおうと、ミニ講演として「ハウス内の環境改善による収量・品質アップ!」と題した普及課職員の講義を行いました。参加した皆さんは、最新の技術情報を熱心にメモを取りながら聞き入っていました。

今後も農業改良普及課は、農村女性リーダーの自主的な活動を支援しながら女性農業者にも積極的に環境制御技術を推進します。

## 来年度は正念場！一気に普及拡大！～「環境制御技術普及促進事業」説明会の開催



農家で満杯（安芸会場）

農業改良普及課は、JA土佐あき、関係市町村と連携して、2月16日の安芸会場を皮切りに、20日赤野・穴内、21日奈半利会場で、「環境制御技術普及促進事業説明会」を、そして2月23日には「事業対象機器の説明・展示会」を開催しました。スタートの安芸会場では100人以上の参加がありました。最終的な延べ参加人数は250人を超え、事業に対する関心の高さを実感しました。

事業説明会では、次年度から国の補助事業を活用することやリース方式になること等を説明しました。生産者からは「リース料はどのくらい?」「この事業スケジュールで施工開始はいつになる?」「申請までに時間がないが見積もりはすぐとれる?」等の声が聞かれました。

今後も、計画的な事業推進をサポートし、環境制御技術の導入を広く呼び掛けます。

## 炭酸ガス施用について学ぼう！～芸東ナス部会研修会～



炭酸ガス施用装置の説明をする普及指導員

2月8日に芸東ナス部会東洋支部の生産者5人が奈半利町の無加温ナス栽培ハウスを訪問し、炭酸ガス施用について研修しました。

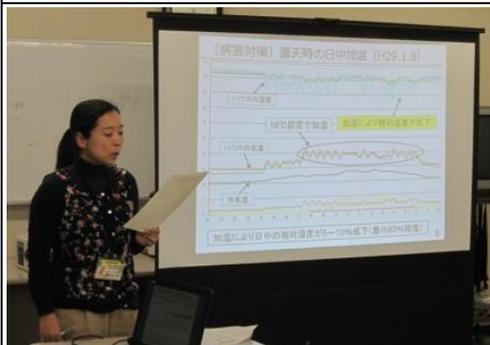
ハウスには、加温機能を兼ね備えた炭酸ガス施用装置が設置されており、昼間に灯油を燃焼し炭酸ガスを施用するとともにタンクの湯を温め、夜間に湯を保温に利用する装置の仕組みや環境制御技術普及促進事業等について農業改良普及課から説明しました。

東洋地区では炭酸ガス施用装置の導入農家がおらず、装置のコスト、生育状況についての質問が多くありました。また、日射比例かん水装置等の質問もあり、環境制御技術への関心を高めることができました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会や講習会等で環境制御技術について情報提供し、生産者の収量・所得の向上に向けて支援します。

## 情勢報告

## 芸西ナス部会が現地検討会と栽培講習会を開催



産地パワーアップ事業について説明する  
産地・流通支援課の担当者

2月7日に芸西ナス部会が現地検討会と栽培講習会を開催し、延べ23人の参加がありました。

農業改良普及課は湿度低減による病害防除、日射量に応じたかん水管理について講習しました。また、産地・流通支援課から環境制御機器の導入に利用できる来年度の産地パワーアップ事業の説明がありました。参加者は、お互いの病害発生程度や栽培管理を情報交換するとともに、事業の変更点などへの質問がありました。

農業改良普及課は、今後も部会活動で情報提供を行い、ナス部会を支援していきます。

## 春以降、病虫害の増加に注意しましょう！ ～赤野ナス部会勉強会～



病虫害防除の説明を聞く生産者

2月2日に赤野集出荷場で赤野ナス部会が女性部と合同で勉強会を開催し、生産者31人（内女性9人）、関係機関6人の計37人が参加しました。

農業改良普及課はフザリウム立枯病や黒枯病、チャノホコリダニなど、2月以降に被害の増加が予想される病虫害の早期防除の呼びかけと、環境制御技術普及促進事業の説明会の開催を周知しました。

参加者からは病気に感染した株の扱い方への質問や自ら日頃のハウス内環境制御の参考にしている書籍を紹介する等、活発な意見交換が行われました。また、「若い者はもっと積極的に事業も使って頑張らんといかん」と説明会への参加を促す年配生産者の声もありました。

今後も農業改良普及課はJA等関係機関と連携し、部会活動を支援します。

## どうやったら病気も防いで増収できる？ ～安芸集出荷場女性ナス勉強会～



園主の除湿対策を熱心に聞き入る参加者

2月3日に安芸集出荷場ナス部会が女性生産者を対象に、今作2回目のナス勉強会を開催し、7人が参加しました。今回は環境制御技術を導入して、病害低減・増収・品質向上面で大幅な成果を上げている芸西地区の2箇所のナスほ場で園主との意見交換を行いました。

農業改良普及課は、直近の気象条件と黒枯病発生消長の関係や環境制御技術普及推進事業の紹介をしました。

参加者からは、炭酸ガス施用や透湿性保温資材、白黒マルチの費用対効果、具体的なハウス湿度値といった質問が、次から次へと飛び出し、園主と熱心に会話する姿が印象的でした。また、勉強会の最後には「次年度事業を活用したい」「事業説明会には必ず参加する」といった声も聞かれました。

今後も農業改良普及課はJA等関係機関と連携し、女性生産者への部会活動を支援します。

## 情勢報告

## 打倒褐斑病！ ～芸東集出荷場キュウリ部会の取り組み～



営農指導員と協力して病害発生状況を調査

芸東集出荷場キュウリ部会では、28園芸年度に褐斑病の激発により大きく減収したことから、耐病性3品種の導入を検討しています。農業改良普及課室戸支所は、昨年度から導入された環境測定装置のデータをもとに、褐斑病発生好適条件を回避するような温湿度管理や品種ごとの発病度、収量性について調査しています。2月現在は軽微な発生が確認された程度で推移しています。

今後、室戸支所では環境制御技術による発病抑制と地域に適合した褐斑病耐病性品種の選定の2本柱で、褐斑病対策の確立に取組みます。

## どの枝切ったらえいがぞね？ ～柚子部東川支部せん定講習会～



どう切ったらいい？（生産者）

これはですねえ・・・（普及指導員・中央）

2月16、17日の2日間でJA土佐あき柚子部東川支部のせん定講習会が開催され、延べ51人の参加がありました。

農業改良普及課は、28年産が豊作だったこともあり、樹勢の弱い樹はせん定し過ぎないように注意することを説明し、①樹の内部まで光を入れる、②せん定量（せん定作業で除去する葉の数）を意識する、③管理のしやすい樹高に抑える、の3点を重点に実演しました。

生産者からは「これなら光も入るし、収穫もしやすい」「今年は樹勢が弱っているから、せん定量に気をつけよう」等の意見が出され、活発な講習会となりました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して活発な部会活動ができるよう支援していきます。

## 樹の内部まで光を！ ～ユズ講座（せん定編）の開催～



－せん定講習会で実演－

これから切ります よく見ていてください

2月19日にJA土佐あき柚子部会は、各支部で開催しているせん定講習会に参加出来ない兼業農家を対象に安芸市東川地区でユズ講座を開催し、24人の参加がありました。

農業改良普及課は、せん定と隔年結果の関係、樹高の下げ方等について実際に樹を切りながら説明しました。参加者からは、「樹勢の見方」「その切った枝はどうなる」「幼木のせん定する時期（何年生から）」等、普段疑問に思っていることについて質問がありました。

今後も農業改良普及課は、柚子部員の技術向上のためにユズ講座に協力していきます。

## 情勢報告

## オランダの花き園芸を学ぼう！ ～花き施設園芸技術研修会～



花の出来はどうでしょうか？ Good！

2月9日に、高知県の主催で「オランダ技術者による花き施設園芸技術研修会」が芸西村で開催され、芸西村・安芸市を中心に22人の花き生産者が参加しました。研修会は講演会とほ場研修の2部構成で、講演後、参加者全員で村内のトルコギキョウのほ場に移動し、講師の指導を受けました。農業改良普及課は、事前に測定したほ場の炭酸ガス濃度の推移や耕種概要を紹介し、研修会をサポートしました。通訳を介してのやり取りでしたが、栽培管理のアドバイスやオランダの工夫等についての質疑を聞き入る生産者の姿から、オランダの技術に対する関心の高さを感じることができました。

農業改良普及課は、今後も、生産者がさまざまな技術を学ぶ機会を設けていきます。

## 若い力で産地を盛り上げよう！～安芸ブロック青年農業士交流会を開催～



ほ場主の説明を熱心に聞く青年農業士ら

2月20日、農業振興センターの支援で安芸ブロック青年農業士が交流会を開催し、青年農業士16人が参加しました。

交流会は、安田町のピーマンと室戸市のキュウリのほ場を回り、栽培状況や施設設備について意見交換を行いました。日頃は他の作物を生産している参加者も、環境制御機器や栽培方法を興味深そうに観察し、「細霧冷房はどのように使っているのか」「この品目の目標収量はどのくらいか」などの質問が挙がりました。

農業改良普及課は、今後も青年農業士の活発な活動を支援し、若手生産者のつながり作りに努めます。

## メリーガーデンオリジナル商品の販売戦略を検討

インターネット販売に挑戦予定の  
フルーツソース

2月6日、メリーガーデンカフェで、メリーガーデンスタッフ（5人）を対象に6次産業化支援チーム会を行いました。

農業改良普及課がモニター調査結果や6次産業化セミナー等で得た情報を提供し、アフタヌーンティーセットやフルーツソースの販売方法、マンゴーサンドの磨き上げについて検討しました。

アフタヌーンティーセットはカフェ部門でメニュー化し、フルーツソースはインターネット販売にも挑戦することになりました。

また、マンゴーサンドはテイクアウトできるようにさらに研究していくことになりました。

農業改良普及課は、今後も商品の磨き上げや販売戦略について活動を支援していきます。

## 情勢報告

## 平成 28 年度第 5 回 集落営農塾（ステップアップ）を開催！



集落ビジョンの見直しをしましょう！

1月26日、農業改良普及課は、奈半利町役場で管内集落営農組織の設立後の活動のステップアップを図るため、集落営農塾（ステップアップ）を開催し、既存2組織と関係機関の出席がありました。

農業改良普及課は、「営農計画の作成」というテーマで、集落ビジョンの見直しや営農計画を作成する際のポイントについて講習しました。

その後、各組織の課題や今後の展望について情報交換しました。参加者からは、「兼業農家が多く、作業のローテーションの組み方が難しい」「役員に負担が掛かっており、いかに他の組合員を巻き込んでいくかが課題」といった組織運営の課題についての意見が出される等、貴重な意見交換ができました。

農業改良普及課は、今回出された意見も踏まえて、各組織が目指す方向へステップアップしていけるよう、関係機関と連携して支援していきます。

## 新・農業人フェアに中芸地域が初参加！



中芸地域で農業研修をしてみませんか？

1月28日、大阪市で開催された新・農業人フェアに中芸地域新規就農支援チーム会の3人が就農相談の対応者として参加しました。

来場者777人のうち中芸地域ブースには19人の就農相談があり、相談者には中芸地域の農業紹介や就農支援内容について説明をしました。

相談者からは「農業をまったく知らないので研修できるか？」「農地や施設は確保できるのか？」等、多くの相談がありました。

農業改良普及課は、農業紹介等の資料作成支援や就農相談の対応をしました。今後は、相談者に中芸地域で研修や就農の意向があるか確認を進めていきます。